

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松代町の体験コンテンツの育成
事業主体 (連絡先)	エコール・ド・まつしろ倶楽部 長野市松代町松代 1502 026-278-0550
事業区分	6 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,508,651 円 (うち支援金 : 2,063,000 円)

事業内容

- (1) 体験機材の購入
- (2) 文化財を使用し松代地区の歴史的特性を活かした伝統文化や芸能の体験会の開催
- (3) チラシ作製、新聞広告掲載
- (4) 体験に使用した着物のクリーニング



【茶道石州流体験】

【目標・ねらい】

- ①体験メニューの充実
- ②真田丸を契機とした事業開催
- ③体験メニューのPR
- ④ボランティアの活性化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①体験機材購入により体験が実施しやすくなった。
- ②NHK大河ドラマ「真田丸」特別展示会場である真田邸と、割引券である3館共通券の1つである文武学校の2館を体験会場の主会場とし集客できた。著名な講師を招聘できた。
- ③今までは予算がなく出来なかった新聞広告やイベント単独カラーチラシ作製により、多くのお問合せ・お申込み・参加者があった。
- ④今までの体験会は実費徴収のみだったが、利益を見越した参加費の設定で少ないながら利益が出た。

※自己評価【 C 】

【理由】体験メニュー増加・大がかりなPR・参加費の値上げにより今までにない集客があった一方でボランティアの負担が利益に見合わない点がマイナスであるため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

体験機材は今後の活動に活かせるが長野市からの支援金では同等のPR・講師招聘・メンテナンスは望めない。そもそも体験プログラムは物がいくらあっても人がいなければ成り立たない事業で回数を増やせば増やただけ人の負担は大きくなる。その際に人のやる気を支えるのは利益収入であるが我々はボランティア団体である。よって事業方針を変更しなければ継続は難しい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある